

鳥取北ロータリークラブ

2021 2022



専任しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

国際ロータリーのテーマ

● 会長……松本 啓介 ● 副会長……千金 周一 ● 幹事……水野 治郎
● 会計……米田由起枝 ● SAA……福田 収 ● 活動記録担当リーダー……田中英剛



例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日 12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市畷町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

今週の例会	2021年12月21日(火)	第2928回
	◆ ロータリーソング 鳥取北RCの歌	◆ 年忘れ家族会 例会 18:00 ~ 家族会
	◆ 献立 パーティー料理	※12/28(火)、1/4(火)休会 1/11(火) 新年祝賀会
	◆ 委員会事項 入会記念日御祝	

次回の例会	2022年1月11日(火)	第2929回
	◆ 君が代・奉仕の理想	◆ 新年祝賀会
	◆ 献立 パーティー料理	※例会前17:00 ~今年度理事会 4階「砂丘の間」
	◆ 委員会事項 誕生日御祝	

先週の例会

2021年12月14日(火)

会長挨拶

今年の例会もあと2回、来週は年忘れ家族会、新企画楽しみにしています。本日はプロ野球の話です。今年、セリーグはヤクルト、パリーグはオリックスが優勝しました。解説者の予想では、セリーグは1位が巨人、ヤクルトの優勝予想はゼロです。パリーグは1位がソフトバンク、オリックスの優勝予想もゼロです。どうしてこういう結果が生まれたのでしょうか。会員で少年野球の指導をしている西口さんに聞いてみたいです。

ヤクルトの高津監督は、最下位のチームを引き受けて1年目は最下位でしたが、2年目に優勝しました。オリックスの中島監督は、2年連続最下位のチームを引き受けて優勝しました。これを見て監督の指導力だと思いました。何が良かったのか具体的には分かりませんが、たぶん他の監督と同じことをしていたのでは優勝できなかったの

ではないか、何か特徴のあることをしていたのではないかと思いました。またそれに応えた選手も素晴らしかったと思います。監督と選手との信頼関係が予想を覆したのではないかと思います。このように予想を覆すようなことが起こると、私達の励みになりますし、私たちに勇気を与えてくれます。あきらめてはいけないとか、信じて前を向いて行動することの重要性とかを。このような気持ち、精神を、私たちの仕事の上でも、また家庭でも活かすことができればいいなと思います。

またロータリークラブの活動においても、何時も前例にとらわれなくて行動しようと言っていますが、是非、これまで考えたことがなかったことを行ってみるのが良いと思います。そうすることで何かが起こり、それがロータリークラブの活性化につながるものと思っています。是非、いろいろチャレンジしてみましよう。

幹事報告

1. 到着文書
 - 1) 地区米山学友会より奨学生歓送会のご案内
2/20(日) ANA クラウンプラザホテル岡山
田村カウンセラーと白音さん参加
 - 2) 岩崎ガバナー事務所より、ワールドゴルフ大会についてのお知らせ
2. 例会変更・メーキャップ情報
米子東 RC 2/9(水) 夜間例会へ
12/22、12/29、1/5 休会
ビジター受付 2/9のみ定刻 例会場
3. その他連絡事項
 - ・新会員児嶋さんの公示終了

インフォメーション 12/20、1月より入会の予定、所属委員会は後日。

- ・理事会報告
 - 1) 職業奉仕賞 湊会員と玉木会員の推薦
 - 2) 勤労学生表彰は「ロータリー学生表彰」と名称変更
2/15は第1回ロータリー学生表彰とする
 - 3) 大谷会員は3月末まで休会
 - 4) 坂根会員は12月末で退会
- ・12/28(火) 1/4(火) 休会、
1/11(火) 新年祝賀会
- ・事務局 12/29 ~ 1/3まで休み

委員会事項

◎出席率報告

12月14日 会員44名中 欠席12名 72.73%

11月30日 補正後 欠席11名 75.00%

◎クラブ運営委員長 笹野眞紀さん

12月21日の年忘れ家族会は、同伴者の皆様も例会に出席して頂きます。また、キャンセルの最終のご連絡は、前日の12月20日の午前中までをお願いします。

*スマイル報告(本日11,000円 累計273,000円)

松本啓介さん 早いもので来週は年忘れ家族会です。新たな企画、楽しみにしています。本日の卓話、松永さんよろしくをお願いします。

千金周一さん 水野さん、寺本さん12日の地区研修お疲れさまでした。

水野治郎さん 先日、ロータリー財団委員長研修会に出席の為、津山に行って来ました。お昼に食べた焼き肉の臭いを気にしながら、しっかり勉強させて頂きました。

宮崎正彦さん 先週、10,000円になった「あんべ」の親がに井食べました。年に一度の祭りのつもりで食べましたので、今シーズンはもう行かないと思います。お客様が満足だったので、何となくホッとしました。名物は残って欲しいですね

森下泰年さん 地域振興券買って来ました。会社の忘年会に使いたいと思います。プレミアム分を一部スマイルします。

笹野眞紀さん いよいよ来週、年忘れ家族会です。会員、御家族、同伴者の皆様と楽しい時間を過ごしましょう！

玉木裕一さん 今日は席決めがくじ引きでしたね。幸運な事に大好きな足立社長のとなりに座れました。スマイル！♡

*2大御祝(本日0円 累計56,000円)

卓話

第一生命「サラリーマン川柳」を紐解く

松永宏之さん

「サラリーマン川柳コンクール」は、昭和60年に社内報で職員を対象に実施した社内向けコンクールがそのはじまりです。そもそもの主旨は、第一生命職員の職場や家庭での喜び・楽しみ・哀しみなどを「川柳」に託してもらうというものでした。

社内報新年号の新企画として当時の広報担当者が発案したのがきっかけですが、世間に売り込めないかというアイデアも同時に生まれ、新聞社に猛アピール。数日後、見事に新聞の一面に掲載されました。第一生命職員に好評であるならばということで、昭和62年、社外のお客



さまを対象として企画・実施することになり、現在に至ります。本企画は開始当初からマスコミでも話題になり、「サラ川」という愛称も定着しました。

30年以上の時を経て、毎年4～5万句の応募が全国各地から寄せられます。昭和、平成、令和と積み重なってきたサラ川は時代を映す鏡として定着するようになりました。

大賞作品だけを見ても、例えば平成9年は「わが家では子供ポケモン パパポケモン」。平成16年では「オレオレに亭主と知りつつ電話切る」。コロナが流行した昨年の大賞作品は「会社へは来るなと上司行けと妻」といったように、世相や流行を反映した作品が数多く選ばれています。その中で、一つのテーマに沿ってサラ川を紐解きながら、時代の流れを紹介したいと思います。

①働き方改革編

ITを活用するなどして、効率的に仕事を進めることができれば、労働時間の削減や生産性の向上につながります。サラ川には「働き方改革」に戸惑いをうかがわせる句がたくさんありました。技術の進展とともに、「はたして自分はいけるのか??」と不安に思う様子がうかがえます。

- ・ロボットに 肩叩かれる 夢を見た(平成2年)
- ・IT化 課長の面倒 誰が見る(平成13年)
- ・効率化 進めて気づく 俺が無駄(平成29年)

②将来の備え編

人生に必要な費用の中で「子育て・教育」、「住宅」、「老後」が人生の三大費用と言われていいますが、どうしても後回しになってしまうのが「老後」の準備です。これからは人生100年時代。実は老後の費用が最も高額になります。

- ・年金は いらぬ人が 制度決め(平成17年)
- ・教育費 かけて夢見る 倍返し(平成25年)
- ・足りないの? そもそも無いよ 2,000万(令和元年)

現在、第一生命鳥取支社では鳥取県と共催で「第2回とっとりのお国自慢サラ川」を募集しています。私たちのサラ川を使って鳥取県のお国自慢をしていくことで、鳥取県のさらなる魅力発信、県内外へのPRにつなげていきたいと思っています。

(担当 田中和夫)